



美作市議会 田村秀昭 活動報告

持続可能な美作を田村秀昭と創る会 No.14 令和 6 (2024) 年 10 月 3 日発行 討議資料

新庁舎の共用開始は来年 5 月上旬?、地名は「美来 (みらい)」

庁舎は予定より 2 か月遅れのゴールデンウィーク明けにオープン。地名 (小字) は市内小中学生の考案で決定しました。
美作市の未来が美しく明るいものであるように願いを込めて。2 月に市政 20 周年記念事業とともにお披露目の予定です。

発行:事務局 美作市湯郷 323-8 0868-72-5621 (TEL&FAX) hidetamuraexpert0528@yahoo.co.jp

活動報告 (抜粋)

- 07 月 01 日 湯郷町内会長会議
- 07 月 10 日 林野高校後援会総会
- 07 月 11 日 中国経済産業局
- 07 月 14 日 こりす講演会
- 07 月 20 日 BeLive 高校生勉強会
- 07 月 22 日 重度障がい者親の会
- 07 月 27 日 歴史文化財研究会
- 07 月 31 日～ 東京出張
- 08 月 02 日 農水省、経産省等
- 08 月 06 日 岡山 SDGs フェア
- 08 月 08 日 岡山県市議研修
- 08 月 11 日 林野高校同窓会総会
映画夢みる給食上映会
- 08 月 16 日 武蔵頭彰高校剣道
- 08 月 19 日 重度障がい者親の会
- 08 月 20 日 英田保育園完工式
こりすの会
- 08 月 21 日 津山市教育委員会
- 08 月 22 日 中四農政局右手視察
- 08 月 24 日 岡山探検 MTG
- 08 月 30 日 議会運営委員会
議員総会
- 09 月 01 日 林野高校あがりん祭
- 09 月 06 日 9 月議会開会
- 09 月 07 日 美作中体育祭
- 09 月 08 日 未来の津山シンポ
- 09 月 11 日 一般質問登壇
- 09 月 20 日 文教厚生委員会
- 09 月 25 日 新市庁舎特別委員会

9 月議会で気になる議案、発言など。

* 今回の一般質問で S 議員が「滋慶医療科学大学の誘致を否決されたことがいまだに恨めしい」旨の発言をされ、市長がそれに同調されました。改めて解説をしておきます。私たちが否決したのは「補正予算案」。大学の誘致は賛成しています。否決の理由は①経済波及効果の数値が異常なことを指摘したが説明できなかった②校舎建設のための経費 20 億円がいつのまにか 21 億になった理由を説明できなかった。③元々の予算 20 億の内訳の説明をしない④設置場所を林野駅周辺を希望したが交渉に乗らない⑤予定学生数 1 千名がいつの間にか半減していた。など、不審な説明が数多くあったことが原因です。補正予算案を否決したことで執行部が断念したという経緯です。

* 新市庁舎の完成が 2 か月遅れ、来年の 5 月上旬の共用開始になる見込みとのこと。このことにより建設費が 7600 万円上がる変更契約を求め、即決の議案が上程されましたが否決しました。委員会に差し戻し、議論。委員会では、工期遅延理由や物資や資材、人件費の高騰などについて質疑。執行部の資料に基づいて説明を受けました。結果は全員賛成で変更契約を受け容れることになりましたが、再びの変更契約、つまりさらに建設費の計上がされるという事です。遅延理由は元々の作業工程に無理があったこと。合併特例債ありきで進められた新市庁舎建設は、その過程において反省すべきことが多すぎます。今後の防災公園、文化施設の行方も厳重に監視が必要です。

* 勝田西町地区にバイオマス工場が建設される計画が浮上、地域の方が猛烈に反対。今議会に「地元の合意を得て建設をするよう」請願が出されました。しかし、地域の反対に抗うことはできず業者は断念。その請願も取り下げられました。太陽光パネルもそうですが、再生エネルギーとして推奨されるものも地域の環境破壊につながるものもあります。SDGS (持続可能な開発目標) に則り、環境負荷を考え地域にとってプラスであれば同意し、開発そのものが生活者にとってマイナスであれば反対すべきです。

* アメリカで、日本で、全世界で政治の改革が求められ、その瞬間が来ています。身近なこのまちでも来春へ向けての動きが表面化しつつあります。誹謗中傷、足元をすくったり、ありえない風評を流したり。そんなことが当たり前の世界なのでしょうか。是々非々を買おうと思えば当然不都合な人がいる。不都合な人が流布する内容を確認することもなく拡散される。私たちは皆さんの話を聴く一方で話を聞いていただくことも務めます。

令和6年9月定例議会（9月6日～10月2日）〈報告〉

9月11日 通告番号7番、一般質問2日目に下記の質問をしました。

〈質問内容&答弁概略など〉

美作市の公共交通政策について改めて問う

6月議会に続き公共交通について問いました。主に児童生徒、高齢の皆様の手続きについて、スクールバスに混乗あるいは共用はできないかと問うと、不審者対策等で混乗は不可。共用はスクールバスの空き時間の活用を検討する、あるいは乗務員の活用を考えると。基幹路線の先のドアツードア型交通システムを実現するために、市営バスで利用の少ない路線の縮小・廃止を検討し、デマンドタクシー等への移行を考える。また、東粟倉地域の中学生が共同バスを通学に利用しているように、スクールバスを市営化し、児童・生徒の通学に利用してもらうことで高齢者等との共同利用も考えられる。ただし、**スクールバスは子どもたちの安全を第一**とするため教育委員会と交通担当部局が連携して最善の策を模索する。なお、周匝上発新道穂崎行、あるいは和気駅行きとの接続についてはこれまで赤磐市と協議を行っていないので、必要であれば小回りの利く交通システムの構築の中で検討してゆく。人口減少で益々公共交通の在り方が問われます。まずは**今ある路線を守る**こと。そのためには「乗る」「利用する」ことが一番です。多少不便でもバス停まで歩こうとも、乗らなければ縮小・廃止となります。姫新線も同じです。

社会教育の実情と文化施設の新設について

作東公民館が開館以来、多くのイベントや展示会などを開催し、賑わいを創出している。その他の公民館活動はどうなっているのかという問いに対して、勝田 291、英田 469、大原 617、作東 403、中央 1503 の計 3283 回、40279 人が利用した。令和5年度はコロナ5類化により**公民館活動が活発化**し、講座や貸館事業が増えた。文化活動を推進する団体・組織への補助や協働について問うと、「活性化事業」「文化財保存」「文化芸術」「文化連盟」などの**補助金事業**があり、個別に連携を図りながら、各団体の目的達成のために協働活動をしている。団体からの提案で実施に至った施策として「市民文学選奨事業」がある。短歌・俳句・川柳・読書感想文の4ジャンル作品の募集をしている。**文化施設については新市庁舎に隣接させる形で、図書館を主体として音響設備を充実させたホールや公民館の機能を持った複合施設の建設構想**をしているとの答弁。しかし、財政改良は認めるが、上下水道や道路、小中学校などインフラの再整備、そして人口減少の激化を考慮すれば過大な施設の建設は進めるべきではないと考えます。



旧消防署の使用状況について（NODAレーシングアカデミーの現状）

旧消防署を使用中の**NODAレーシングアカデミー**の現在の生徒数やこれまでの投資額、賃貸契約の内容を問いました。誘致以来10年。**施設使用は無償、補助金は約7000万円**。スクールとしての利用のために旧消防署に教室や生徒個室、その他寮として機能を持たせるために改修工事も実施している。施設契約の解消はNODA側からの申し出がない限りできない。これについては、弁護士と相談して契約の在り方を正してゆきたいという答弁。**生徒は現状おらず**、スクールとしての機能はないし常駐職員はいるのかいないのか。卒業生である野田樹潤さんはヨーロッパでの活躍が目覚ましく、美作市出身とマスコミは伝えますが、市民への報告や挨拶あるいは市内へのファンサービスも全くないのは寂しい限り。せめて凱旋報告で市長表敬、みまチャンネルへの出演などしてほしいものです。お父様の故郷、鹿児島県指宿市のふるさと納税のアピールや、他の自治体への協力や協働は目にするものの、**美作市への還元がない**ことを指摘しました。なお、このままの状態が続くなら旧消防署施設は返還いただき、今後県外からの生徒を見込む林野高校の生徒寮にすることを提案しました。投資は回収するのが原則。市有財産は活用してこそその価値です。

文教厚生委員会で、6月から継続協議となっていた「**子ども教育支援**」の請願は、給食無償化、こどもの遊び場確保、高校生への経済支援の3項目すべてを採択しました。執行部が今後どのような施策として展開するか注目です。こどもへの投資に期待です。

森林整備促進条例は地元森林業者等との議論や擦り合わせをすることなく考案されたものとして反対するも可決されました。